

2017年度 (H29) 決算は7億4776万8788円の黒字!

一般会計歳入101億643万6525円、歳出93億5866万7737円

新 上 上 里

No.2223

2018年度
9月
議会報告

発行
日本共産党
上里町議員
生活相談は下記へ
くつざわ幸子
34-0644

上里町の9月定例議会は4日から25日まで開催されました。町長提出議案は、条例の一部改正4件、平成30年度補正予算4件、平成29年度歳入歳出決算認定7件でした。一般質問は8名の議員が行いました。

決算認定に日本共産党は反対!

支援、請願陳情道路等の整備改修などに生かすことが必要とのべ反対しました。以下は、具体的に指摘した内容です。

△同和对策事業の住宅資金貸付事業の滞納は27世帯で約6900万円ありますが、債権者への交渉も出来ない状況が続いています。

△公立保育所の仮設園舎の借り上げ料が2017年度末で1億15万円になり、今年度一部見直しとなり、委託料をかけた基本設計は、託料をかけた基本設計は、今年度一部見直しとなり、仮設園舎を延長したにもかかわらず、議論が尽くせなかつた結果です。

△児童館全体の一般児童の参加は18%弱であり、児童館本来の役割が果たされていません。

△奨学資金貸付事業は、資金に余力がありますが、申請して、子育て支援や高齢者無駄を省くことは大事で、4億円となりました。

一般会計 反対の趣旨

2017年度上里町一般会計は、歳入歳出共に前年度を上回り、約7億5千万円の黒字でした。個人住民税一人当たりの所得平均は前年度より約1万3千円増額して269万772円になりましたが、納税者の所得階層は、200万円以下が72%、300万円では87・5%が該当するといふ、厳しい結果です。町税収入未済額は約1億5千万円で、平成4年から分納を続けても払いきれないものは適切な処理が望まれません。一方、2017年度末基金残高は、約4億円増えています。無駄を省くことは大事で、4億円となりました。



申請者が減っています。所得制限をなくし、利用しやすくなすべきです。

△児玉郡市広域市町村組合清掃施設運営事業負担金、約1億8800万円は、ごみ焼却を見直し、資源分別の拡大を図るべきです。

△臨時職員として5年・10年と継続し正規職員と同じ仕事に従事している職員の抜本的な処遇改善を求めます。

△国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険の三会計は、制度の悪さから、所得に対して負担が大きすぎる点を指摘し反対しました。

△国民健康保険は、町で行う最後の決算になりました。

△広域連合に移行する大変な中で、保険料を上げなかつたことは評価できますが、前年度からの繰り入れは前年度からの割増減らしていません。

また、資格証明書を22世帯発行し、短期保険証も75世帯でした。滞納世帯の保険証は郵送せず窓口渡しにしています。

また、資本金の改善を求めました。

また、町長も町に目標を伝えたとのことでした。

18歳までの医療費無料化実現!

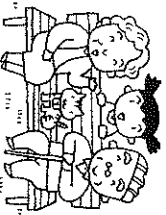
「上里町子ども医療費支給に関する条例」は、医療給の受給期間を15歳に達する日以後の最初の3月31日から、児玉郡市の医師会や首長に働きかけてきたことがあって、山下町長の下で早期に実現できたと思います。

重度障害者医療費支給に所得制限

した。香沢は、障害の進行を防ぐことや二次障害を防止するために、医療機関の受診が必要と述べ、腎臓病など難病を患いながら懸命に働く方々の負担増になると、所得制限に反対しましたが、賛成多数で可決されました。そのため、17人が三年後から対象外となります。

場外馬券売り場 計画は白紙に!

25日の全員協議会での町長報告によると、9月14日に民間企業代表者が訪れ、「無理に場外馬券売り場をつくることはない」と話されたとの事でした。また、町長も町に目標を伝えたとのことでした。



多くの町民の願いが実現し、嬉しく思います。これは、前関根町長の時から、児玉郡市の医師会や首長に働きかけてきたことがあって、山下町長の下で早期に実現できたと思います。

議長最終日の25日議員全員の賛成で、左記の二つの意見書を関係機関に提出しました。(1)「児玉郡市における埼玉県議会議員選挙区を見直し児玉郡及び本庄市が同一選挙区になるよう求める意見書」(2)「ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書」

議員提案で意見書

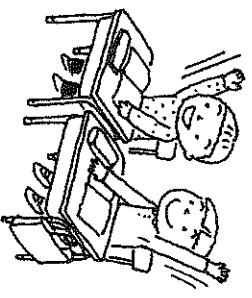
沓沢：「駅北の町づくり」に協議会で合意形成を



町長：任期の中で全身全霊で協議会をつくり取り組む

日本共産党くづね幸子の一般質問

9月議会では、神保原二丁目の旧トライア跡地利用として浮上してきた、場外馬券売り場の設置について町長に問うと同時に、神保原停車場の道路拡幅をはじめとする駅北地域の活性化について、住民を含めた協議会等を立ち上げて、住民の合意形成を図ること、教育に関するいくつかの課題について質問しました。



※1コマは45分授業です

駅北の町づくりについて

どの認識をいだいた課程検討委員会を立ち上げ、1コマ授業を行う6時間目を設定することにしました。放課後の時間が奪われるのはご指摘の通りですが、異文化コミュニケーションは重要です。ニゲーションは重要で、(くづね)体育館は、文化発表会や日々の部活動、災害時の避難所でもありエアコン設置が必要

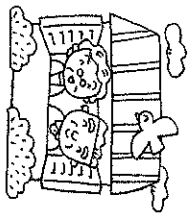
(くづね)神保原駅前旧トリア跡地の場外馬券売り場設置計画について、町長の目指す町づくりはどうか。は、正式に把握しているが、地元住民との合意形成の有無や周辺地域及び町に対する影響を分析し検討したい。通学路

身全霊で協議会をつくってやっきたい。具体的に試算して検討したい。(教育長)熱中症予防策として有効と考えるが、重に判断しなければと考える。小・中学校の校舎の朽化対策を優先させた

教育問題について

(くづね)2020年度から、小学校の英語が教科になります。現在も4、6年生は、週3日は6コマ授業です。放課後の時間が減ることは、児童の健全な発達を保障する点からも問題です。教員も過重労働の上に英語研修が増加します。どうか

に要望を込めた。結果と町長の決意は。(町長)8月23日に県道17号までの道路整備について、神保原地域では要望署名が取り組まれました。県に要望した



上里の顔行なつた。に要望を込めた。結果と町長の決意は。(町長)8月23日に県道17号までの道路整備について、神保原地域では要望署名が取り組ま

要な教育活動です。集中して精掃していく中で、自然に無言と言う状態になることが大切であり、人間形成に役立つ活動と考えます。(くづね)上里町の奨学金制度に所得制限が導入されています。学ぶ意欲のある学生が借りやすい制度に。

(町長)継続して制度の改善を検討したい。(教育長)健全な奨学金制度の運営を確保しつつ、近隣市町村の動向も踏まえ、制度の改善点を検討したい。

(くづね)県は「ジュニア・アスリート事業」をモデル実施しています。町も、中学3年生対象の「学カアツプ教室」に続き、小学3年生からのサポートに取り組み考えます。

(教育長)小学生の学習支援は有意義であると考えるが、専門知識や教育技術を備えた人材確保が課題。しかし、多角的、多面的に検討したい。

(教育長)昨年、教育(教育長)清掃活動は重

憲法九条を変えないよう求める請願を「継続」に!

9月議会には、日本共産党の沓沢が紹介議員となった二つの請願、「憲法九条を変えないことに対する意見書の提出を求める請願」と「主要農作物種子法の復活をもとめる請願」が提出されました。

総務経済常任委員会に付託され審査された請願は「継続審査」となりました。

二つの請願は、いざれも継続審査となりまして。継続の理由として、委員長は憲法九条請願は自衛隊の存続の明記が具体的に

なっていない。種子法の請願は専門家の意見を聞きたいと報告しました。沓沢は憲法九条の請願は、安

倍首相が九条改訂を公言していることに対して、変えてほしくないと

いという請願であり、そのことについて、世論調査でも改憲を求める声は少数です。

※9条請願に対して、国民投票もあるからいいんじゃないか」と言う議員もいます。世論調査でも改憲を求め

る声は少数です。議会の意志を決

定すべきであり、

